

株主の皆様へ

SAKATA INX

Visual Communication Technology

証券コード：4633

# 第144期 中間報告書

2021年1月1日～2021年6月30日



## C O N T E N T S

株主の皆様へ P. 1  
トピックス P. 2  
連結業績・財務ハイライト P. 3

連結財務諸表 P. 4  
セグメント別概況 P. 5  
ESG・サステナビリティへの取り組み  
／グローバルネットワーク P. 7

株主様向け情報 P. 8  
株式情報 P. 9  
会社情報 P. 10  
株主メモ P. 11

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第144期中間報告書(2021年1月1日から2021年6月30日)の業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にある中、社会・経済活動の段階的な再開やさらなる経済対策の効果などにより、全体としては持ち直しの動きが続きました。

このような状況の中で、当社グループはコア事業である印刷インキ事業において、各拠点での拡販に注力するとともに、環境配慮型・サステナブル製品の開発・積極展開、TPM活動の継続と深化による生産性向上などに取り組みました。また、印刷インキの主要原材料につきましては、原油価格の上昇や中国における環境規制の強化に加え、感染症やアメリカの大寒波などの影響によるサプライチェーンの混乱および需給バランスの悪化により、供給不足や価格の高騰が生じております。このため、製品の安定供給を最優先として、グループ会社間の連携強化やグローバル調達などによるサプライチェーンの安定化に取り組みました。一方、機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、トナー、カラーフィルター用顔料分散液などの従来製品の拡販に加え、社会トレンドを捉えた高付加価値製品の開発に取り組みました。

売上高は、欧米の印刷インキの拡販が進み、アジアの印刷インキや機能性材料も販売回復が進んだことに加え、新規連結による増収が寄与したことなどから、886億7千6百万円(前年同期比11.6%増加)となりました。

利益面では、印刷インキの原材料高が第2四半期において顕著となったものの、販売数量の増加、販売価格の改定およびコスト削減による利益増加に加え、機能性材料の販売回復による大幅な利益改善が寄与したことなどから、営業利益は50億4千5百万円(前年同期比58.6%増加)となりました。経常利益は、持分法による投資損益、為替差損益が大幅に改善したことなどから、58億5千2百万円(前年同期比126.5%増加)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億3千9百万円(前年同期比169.7%増加)となりました。

なお、中間配当金は1株あたり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
社長執行役員

上野 吉昭

2021年9月

## トピックス

### Topics

#### 長期ビジョン・中期経営計画の策定

デジタルメディアの急激な普及や、気候変動をはじめとした環境対策の必要性がより一層高まるなど、事業環境の大きな変化に対応すべく、2021年2月、長期ビジョン『SAKATA INX VISION 2030』を策定いたしました。さまざまな社会課題の解決に向けた一翼を担い、サステナブルな社会の実現に貢献しつつ、社会から求められる企業として持続的に成長を果すことを目的としたものです。同時に、長期ビジョンをバックカスティングし、基盤構築に取り組む最初の3年間として『中期経営計画2023 (CCC-I)』も策定しました。

既存事業では、環境配慮を軸としたサステナブルな製品の積極展開を図りつつ、戦略的な投資により新規市場への参入も目指します。新規事業では、4つの注力分野を掲げて、オープンイノベーションとリーンスタートアップによる開発を進め、新しいビジネスモデルを提案していきます。さらに「変革プロジェクト」を立ち上げ、グループ内のさまざまな課題を改革し、企業価値を向上させていきます。

これらの取り組みにより、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、事業拡大と収益力の強化を達成し、ステークホルダーの皆様からより一層の信頼を得られるように、長期ビジョンと中期経営計画の達成に向け邁進してまいります。



長期ビジョン説明会資料

#### 新規事業やサステナビリティに向けた取り組み

##### 【「インターネットコンジャパン」に出展】

アジア最大級のエレクトロニクス製造・実装展として広く知られる「インターネットコンジャパン」が開催され、当社グループ会社であるシークス株式会社のブースに共同出展し、プリントドエレクトロニクス分野への展開に向け、開発品を出展しました。

##### 【二酸化炭素回収の共同研究開始】

インキ溶剤や軽油の代替燃料になる有機化合物を空気中の二酸化炭素から合成する技術開発に向け、一般社団法人炭素回収技術研究機構 (CRRA) と共同研究開発契約を締結しました。また、実験拠点として、東京工場内に共同ラボ「CRRA 新東京サイエンスファクトリー」を創設しました。「地球に優しい」製品と新たな循環型ビジネスモデルにより、サステナブルな低炭素・脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。



CRRA新東京サイエンスファクトリー  
(東京工場内)

#### 「ESG経営支援私募債」を発行

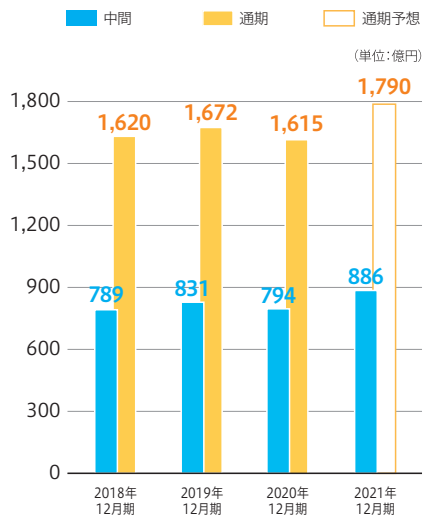
当社は長期ビジョンにおいて、「地球環境と地域社会を重視したESG・サステナビリティの取り組み強化」を重要な戦略の一つとして掲げており、その推進の一環として、ESG評価型の無担保私募債を発行しました。私募債を発行するにあたり、株式会社日本格付研究所からは、「Sランク」の高い評価を受けています。

ESG経営を目指し、さまざまなステークホルダーとの良好な信頼関係の構築に努め、社会の一員としての責任を誠実に果たしつつ、事業活動を通じた社会課題の解決と持続可能な社会の構築に取り組み、企業価値向上を目指してまいります。

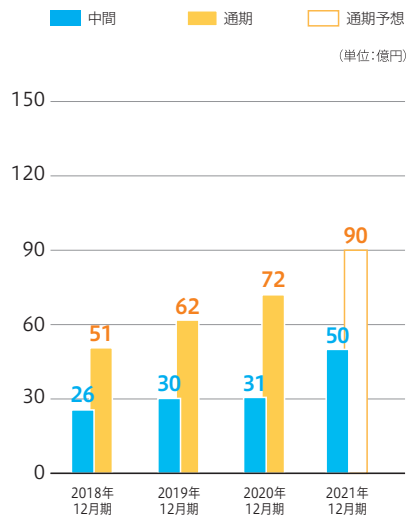
# 連結業績・財務ハイライト

## Consolidated Financial Highlights

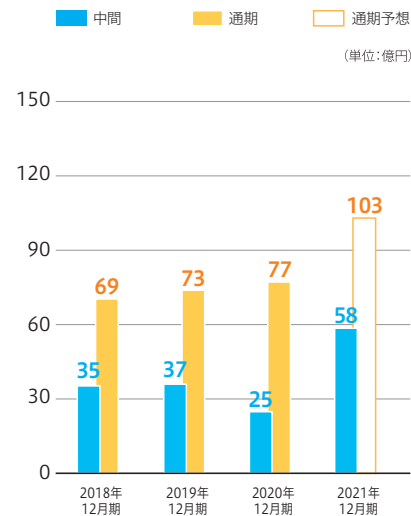
### 売上高



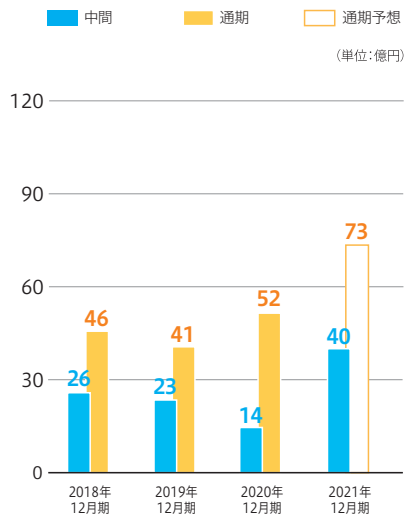
### 営業利益



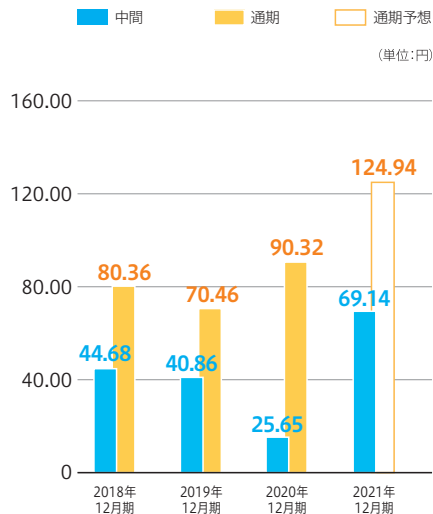
### 経常利益



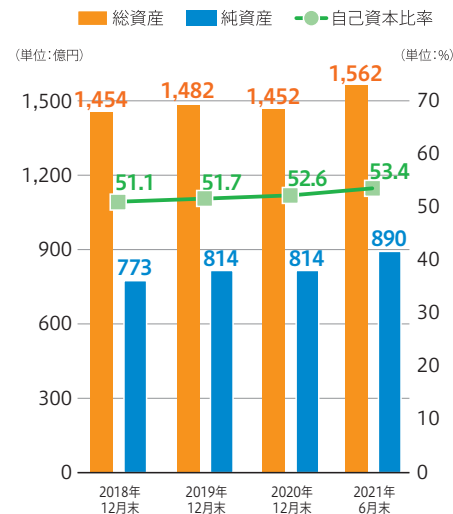
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### 1株当たり四半期(当期)純利益



### 総資産/純資産/自己資本比率



# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### ■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期末 2020年12月31日	当第2四半期 連結会計期間末 2021年6月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	77,640	85,942
固定資産	67,632	70,348
有形固定資産	40,338	43,190
無形固定資産	707	1,038
投資その他の資産	26,586	26,118
<b>資産合計</b>	<b>145,272</b>	<b>156,290</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	42,315	45,438
固定負債	21,535	21,807
<b>負債合計</b>	<b>63,850</b>	<b>67,246</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	83,035	86,087
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,675
利益剰余金	73,918	76,949
自己株式	△ 4,027	△ 4,010
その他の包括利益累計額	△ 6,674	△ 2,614
その他有価証券評価差額金	1,652	1,998
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 1
為替換算調整勘定	△ 7,281	△ 3,653
退職給付に係る調整累計額	△ 1,045	△ 958
非支配株主持分	5,060	5,571
<b>純資産合計</b>	<b>81,421</b>	<b>89,043</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>145,272</b>	<b>156,290</b>

\*百万円未満を切捨てて表示しています。

### ■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	期別	
	前第2四半期 連結累計期間 2020年1月1日～ 2020年6月30日	当第2四半期 連結累計期間 2021年1月1日～ 2021年6月30日
売上高	79,472	88,676
売上原価	62,037	68,928
<b>売上総利益</b>	<b>17,434</b>	<b>19,747</b>
販売費及び一般管理費	14,252	14,701
<b>営業利益</b>	<b>3,181</b>	<b>5,045</b>
営業外収益	431	974
営業外費用	1,029	168
<b>経常利益</b>	<b>2,583</b>	<b>5,852</b>
特別利益	-	71
特別損失	61	22
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>2,522</b>	<b>5,901</b>
法人税、住民税及び事業税	936	1,340
法人税等調整額	△ 109	190
法人税等合計	827	1,530
<b>四半期純利益</b>	<b>1,695</b>	<b>4,370</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	331
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>1,497</b>	<b>4,039</b>

### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

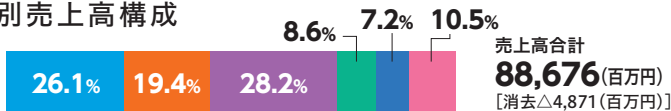
科目	期別	
	前第2四半期 連結累計期間 2020年1月1日～ 2020年6月30日	当第2四半期 連結累計期間 2021年1月1日～ 2021年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,623	2,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,286	△ 2,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,064	△ 1,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 499	656
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,901	△ 755
現金及び現金同等物の期首残高	9,361	11,678
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	429
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,263	11,352

## セグメント別概況

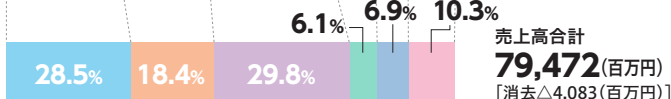
### Segment Information

#### セグメント別売上高構成

第144期(中間)  
自 2021年1月 1日  
至 2021年6月30日



第143期(中間)  
自 2020年1月 1日  
至 2020年6月30日



- 印刷インキ・機材(日本)
- 印刷インキ(アジア)
- 印刷インキ(米国)
- 印刷インキ(欧州)
- 機能性材料
- その他

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化粧品事業、ディスプレイサービス事業および色彩関連機器事業等を含んでおります。

### 印刷インキ・機材(日本)

#### 売上高

**244億3千9百万円**

前年同期比 **2.7%**増

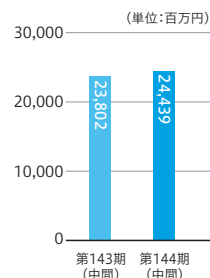
#### 主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、新聞インキ、オフセットインキ、印刷製版用材料、印刷製版関連機器

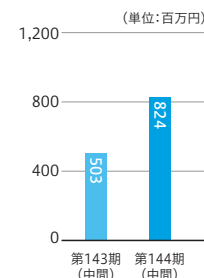
パッケージ関連では、グラビアインキは内食関連の需要が比較的堅調であったものの、外出自粛によるレジャー消費やコンビニエンスストアにおける需要の停滞に加え、前年上半期の巣ごもり特需による一時的な販売増がなくなったこともあり前年同期を下回りました。フレキシインキは好調な通販関係や家飲み需要に支えられ前年同期を上回りました。印刷情報関連では、デジタル化の影響に加え、感染症の影響により広告需要が低迷したことなどから、新聞インキは前年同期を下回りました。一方、オフセットインキは感染症の影響で前年上半期は販売が大きく落ち込んだこともあり前年同期を上回りました。以上のことから、印刷インキ全体では前年同期を上回りました。機材につきましては、印刷製版用材料は低調であったものの機械販売が増加したことから、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は増収となりました。

利益面では、パッケージ関連が堅調に推移したことに加え、全般的なコスト削減が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

#### 売上高



#### 営業利益\*



### 印刷インキ(アジア)

#### 売上高

**181億3千5百万円**

前年同期比 **18.0%**増

(参考)

為替影響排除後 **16.0%**増

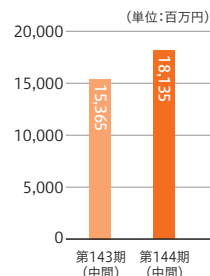
#### 主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、メタルインキ、新聞インキ、オフセットインキ

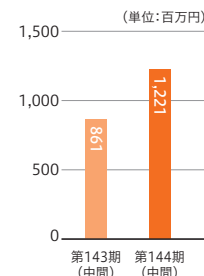
主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、感染症の影響を受けたものの、インドネシア、ベトナム、タイなどが堅調に推移し、昨年の上半期に事業活動に大きな制約を受けたインドにおいても、回復傾向が続きました。印刷情報関連では、インドは感染症の影響により需要の回復が一部に留まったものの、経済活動の回復に伴い中国は好調に推移しました。売上高は、販売数量が増加したことに加え、販売価格の改定が進んだことなどから増収となりました。

利益面では、原材料高が影響したものの、販売数量の増加や販売価格の改定効果が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

#### 売上高



#### 営業利益



## 印刷インキ(米州)

売上高

**263億5千2百万円**

前年同期比 **6.0%**増

(参考)

為替影響排除後 **7.1%**増

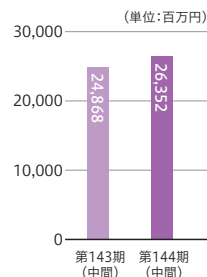
主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、  
メタルインキ、オフセットインキ

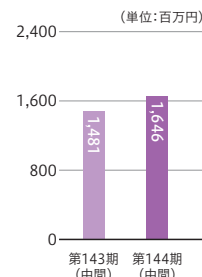
主力のパッケージ関連では、旺盛な需要を背景として、顧客密着型の技術サービスの充実による環境配慮型製品の拡販に取り組み、フレキシインキ及びグラビアインキが堅調に推移しました。メタルインキは環境負荷の観点からアルミ缶に対する需要が高まっており、引き続き堅調に推移しました。印刷情報関連であるオフセットインキは、UVインキなどが堅調に推移したことに加え、感染症の影響で前年上半期は販売が大きく落ち込んだこともあり、前年同期を上回りました。売上高は、パッケージ関連の販売数量が増加したことに加え、販売価格の改定が進んだことなどから、増収となりました。

利益面では、原材料高が影響したものの、販売数量の増加や販売価格の改定効果に加え、コスト削減が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

売上高



営業利益



## 印刷インキ(欧州)

売上高

**80億3百万円**

前年同期比 **55.5%**増

(参考)

為替影響排除後 **46.1%**増

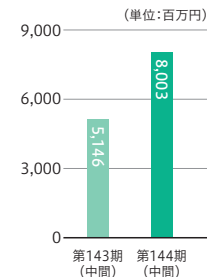
主要製商品

フレキシインキ、グラビアインキ、  
メタルインキ、オフセットインキ

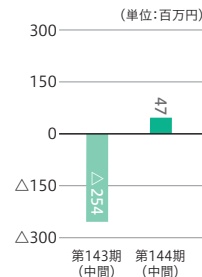
パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだ結果、販売は堅調に推移しました。売上高は、販売数量が増加したことに加え、ドイツの子会社を連結の範囲に含めたことなどから、増収となりました。

利益面では、販売数量の増加及び新規連結による増益に加え、組織再編や生産能力増強によるコスト削減が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

売上高



営業利益



## 機能性材料

売上高

**67億5千4百万円**

前年同期比 **17.6%**増

(参考)

為替影響排除後 **15.4%**増

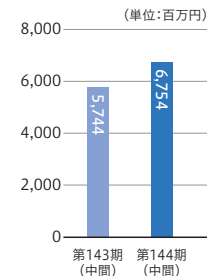
主要製商品

インクジェットインキ、トナー、  
カラーフィルター用顔料分散液、  
機能性コーティング剤

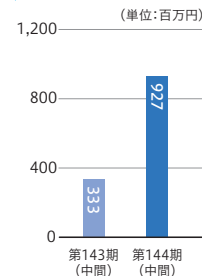
インクジェットインキは、感染症の影響により落ち込んでいた広告需要が海外を中心に回復し、拡販が進んだことなどから、前年同期を上回りました。カラーフィルター用顔料分散液は、パネルディスプレイ市場の好況が続き、堅調に推移しました。トナーは、感染症の影響により落ち込んでいたオフィス用途の需要が上向いてきたことなどから、前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は増収となりました。

利益面では、デジタル印刷材料の販売が一般的に増加し、欧米事業のコスト体質の改善も進んだことに加え、在庫評価減の一巡や諸経費の削減が寄与したことなどから、営業利益は増益となりました。

売上高



営業利益<sup>※</sup>



# ESG・サステナビリティへの取り組み／グローバルネットワーク

## Approaches on ESG・Sustainability Activities／Global Network

### ESG・サステナビリティへの取り組み

2030年を目標とした長期ビジョンの戦略の方向性において、「地球環境と地域社会を重視したESG・サステナビリティの取り組み強化」を掲げました。2030年のSDGsの目標達成に向け、取り組むべき5つの重要課題(マテリアリティ)を定め、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

環境面ではボタニカルインキシリーズをはじめとした環境配慮型製品比率の向上や生産活動における環境負荷の低減など、社会面では多様な勤務制度や健康経営を推進し、働きやすい労働環境の構築など、ガバナンス面では役員構成・経営会議の多様化や内部統制システムの整備などといった取り組みに注力してまいります。

詳細は8月末発行の「CSRレポート2021」をご覧ください。

<b>E: 環境</b> <b>環境配慮型製品比率の向上</b>  <b>ボタニカルインキ</b> <small>植物由来成分を含有し、CO2排出抑制に貢献</small> <b>生産活動における環境負荷の低減</b> <small>太陽光発電導入とエネルギー消費量削減</small> <small>滋賀工場、東京工場への太陽光発電システム導入</small> <b>GHG50%削減 ※</b> <small>TCFDへの早期賛同とリスク開示</small>	<b>S: 社会</b> <b>働きやすい労働環境</b> <b>多様な勤務制度</b> <small>テレワーク制度の導入</small> <small>ワークライフバランスの推進</small> <b>健康経営推進</b> <small>サカイクス健康経営宣言</small> <b>国内女性管理職比率15%以上</b> <b>育休取得率100%</b>	<b>G: ガバナンス</b> <b>コーポレートガバナンス強化</b> <b>役員構成や経営会議の多様化</b> <small>社外取締役・女性取締役の参画</small> <small>海外現地法人役員との戦略会議</small> <b>内部統制システムの整備</b>
<b>2030</b>	<b>2030</b>	<b>2030</b>

※日本国内のScope1&2における2013年度比の削減目標。当初掲げていた削減目標30%を50%に引き上げ。

### グローバルネットワーク



**EUROPE**

- イギリス(マンチェスター)
- スペイン(バルセロナ)

**ASIA**

- インド(ニューデリー)
- タイ(バンコク)
- ベトナム(ホーチミン)
- インドネシア(ジャカルタ)
- 中国(広東省茂名)

**JAPAN**

- 大阪本社
- 東京本社

**AMERICAS**

- アメリカ(シカゴ)
- アメリカ(オハイオ)
- ブラジル(サンパウロ)



## 株主様向け情報

### Information for Shareholders

#### IR活動の取り組み

当社は、株主や投資家の皆様が必要とする情報を適切に提供するため、IR活動に取り組んでいます。機関投資家向けの活動としては、コロナ禍によりウェブや電話を活用した面談を数多く実施いたしました。また、個人投資家向けの活動としては、リアル会場での開催は中止とされたものの、1月にウェブでの開催となった「野村IR資産運用フェア2021」に出展いたしました。今後、個人投資家の皆様とお会いして、直接対話ができる機会を増やすべく、検討を進めてまいります。

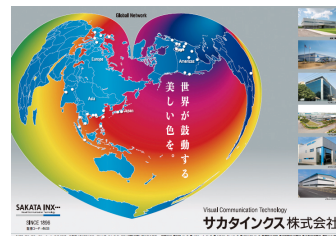
今後も当社の知名度向上と事業内容をご理解いただき、また話題性に溢れ、成長していく企業として認知していただくべく、IR活動に取り組んでまいります。



野村IR資産運用フェア2021(ウェブ開催)

#### 企業広告の掲出

東海道新幹線の新大阪駅コンコースと、東京駅北口(八重洲側)の大丸前通路に当社の企業広告を掲出しています。ダイナミックなカラーリングを施したハート形の世界地図が、視覚的印象から“心臓”を想起させ、それをキャッチコピーに活かし、「世界が鼓動する美しい色を。」としています。お近くをお通りの際は、ぜひご覧ください。



企業広告

#### 株主還元について

##### 配 当 金

2021年12月期の中間配当金は、1株当たり15円の普通配当を実施させていただくことになりました。

##### 株 主 優 待 制 度

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的に株主優待を実施しています。

##### 対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様を対象といたします。

##### 株 主 優 待 の 内 容

保有株式数	継続保有期間	優待内容
1単元(100株)以上	1年未満	QUOカード 500円
	1年以上3年未満	QUOカード 1,000円
	3年以上	QUOカード 2,000円

継続保有期間とは、それぞれ、同じ株主番号で毎年6月30日および12月31日現在の株主名簿に、1単元(100株)以上の保有を下記のとおり、連続で記載または記録されていることとします。

1 年 未 満：直近株主名簿に記載が2回以下

1年以上3年未満：直近株主名簿に連続3回以上6回記載

3 年 以 上：直近株主名簿に連続7回以上記載

##### 贈 呈 時 期

毎年、定時株主総会終了後の3月下旬にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送を予定しています。

# 株式情報

## Stock Information

### ■ 株式数および株主数

(2021年6月30日現在)

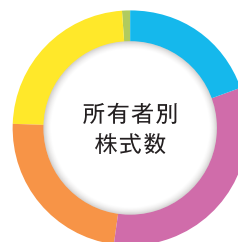
① 会社が発行する株式の総数	144,000千株
② 発行済株式の総数	62,601千株
③ 株主数	11,712名
④ 1人あたり平均持株数	5,345株

### ⑤ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋インキSCホールディングス株式会社	8,428	13.46
日本マスタートrust信託銀行株式会社(信託口)	4,911	7.84
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,403	7.03
サカティンクス株式会社	4,164	6.65
住友生命保険相互会社	3,510	5.60
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,102	4.95
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	2,300	3.67
サカティンクス社員持株会	1,576	2.51
株式会社りそな銀行	1,563	2.49
有限会社神戸物産	1,416	2.26

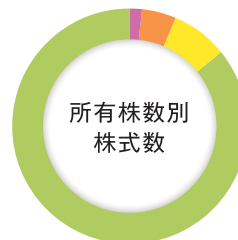
### ■ 株式の分布状況

(2021年6月30日現在)



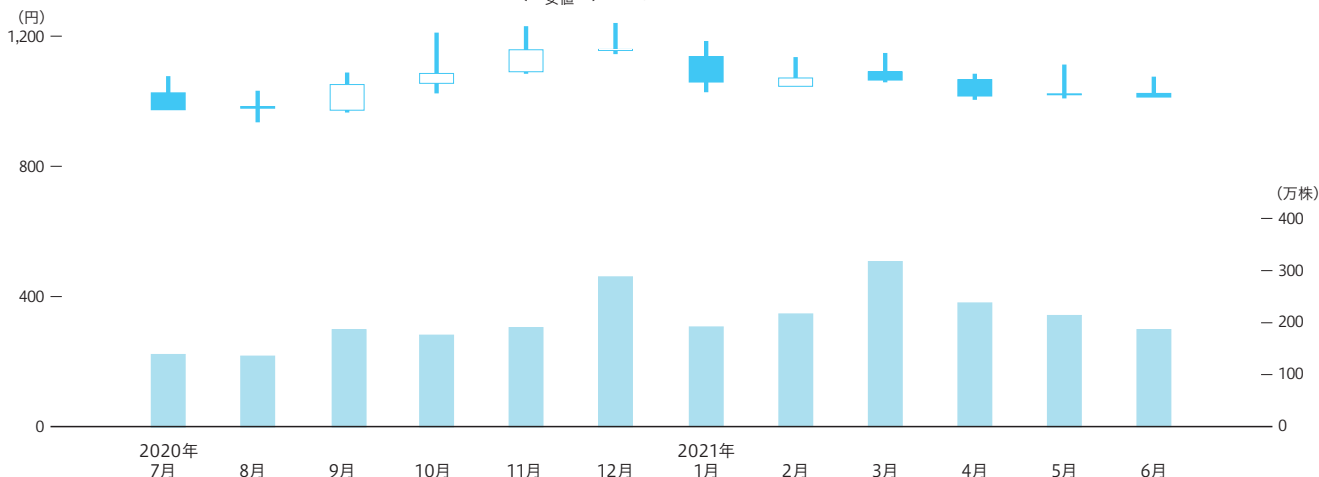
	(千株)	(株数百分率)
個人・その他	12,284	19.62%
金融機関	20,469	32.70%
その他国内法人	14,609	23.34%
外国人	14,543	23.23%
証券会社	694	1.11%

(「個人・その他」に自己名義株式を含みます)



	(千株)	(株数百分率)
百株未満	15	0.03%
百株以上	1,191	1.90%
千株以上	2,876	4.59%
一万株以上	4,926	7.87%
十万株以上	53,590	85.61%

### ■ 株価および出来高の推移



# 会社情報

## Corporate Information

### ■ 会社概要

(2021年6月30日現在)

創 業	1896年(明治29年)11月1日
設 立	1920年(大正9年)9月5日
資 本 金	7,472百万円 (百万円未満切捨て)
本 社	(大 阪)大阪市西区江戸堀一丁目23番37号 (東 京)東京都文京区後楽一丁目4番25号(日教販ビル)
事 業 内 容	各種印刷インキ・補助剤の製造・販売 印刷用・製版用機材の販売 電子機器・情報関連機材の販売 機能性材料関連品の製造・販売 輸出入
国内営業拠点	支社(愛知・岡山・福岡) 支店(北海道・宮城・静岡・石川) 営業所(青森・新潟・神奈川)
国内生産拠点	東京工場 (千葉県野田市) 大阪工場 (兵庫県伊丹市) 滋賀工場 (滋賀県米原市) 羽生工場 (埼玉県羽生市)
海外拠点	アメリカ・カナダ・ブラジル・イギリス・スペイン・ ドイツ・チェコ・フランス・インドネシア・ マレーシア・ベトナム・フィリピン・タイ・ インド・バングラデシュ・中国・台湾
従業員数	連結 4,762名(単体 872名)

### ■ ウェブサイトのご案内

ニュースリリースやIRトピックスなどの最新情報を掲載しています。(http://www.inx.co.jp/)



サカタインクス

### ■ 役 員

(2021年6月30日現在)

#### 取締役

取 締 役 会 長	森 田 耕 太 郎
代 表 取 締 役	上 野 吉 昭
取 締 役	中 村 正 樹
取 締 役	中 村 均
取 締 役	福 永 俊 彦
取 締 役	潟 浦 雄 一
社 外 取 締 役	中 川 克 己
社 外 取 締 役	勝 木 保 美
社 外 取 締 役	和 泉 志 津 恵

#### 監査役

常 勤 監 査 役	手 島 泉
常 勤 監 査 役	森 貴 弘
社 外 監 査 役	佐 藤 義 雄
社 外 監 査 役	杉 本 宏 之

#### 執行役員

社 長 執 行 役 員	上 野 吉 昭
専 務 執 行 役 員	中 村 正 樹
専 務 執 行 役 員	中 村 均
常 務 執 行 役 員	福 永 俊 彦
上 席 執 行 役 員	森 田 博
上 席 執 行 役 員	西 田 利 行
上 席 執 行 役 員	芳 村 嘉 也
上 席 執 行 役 員	潟 浦 雄 一
執 行 役 員	宮 田 明 夫
執 行 役 員	松 尾 晴 彦
執 行 役 員	濱 田 洋 一
執 行 役 員	建 入 実
執 行 役 員	芳 澤 廣 之
執 行 役 員	木 村 隆 司
執 行 役 員	淵 野 昌 弘

# 株主メモ

## Shareholder Memo

- 事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 3月開催  
基準日 定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金 6月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) ☎0120-782-031
- (URL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。  
(公告掲載URL <http://www.inx.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告  
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人
- お問い合わせ先 住所変更、単元未満株式の買取・買増等について  
株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され  
ました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井  
住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社まで  
お問い合わせください。

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続き  
が必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社など  
へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載  
し、税務署へ提出いたします。

- 主な支払調書 ○配当金に関する支払調書  
○単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引  
に関する支払調書

### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様  
下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。  
三井住友信託銀行 証券代行部  
☎0120-782-031

## サカタインクス株式会社

- 大阪本社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-23-37  
TEL 06-6447-5811
- 東京本社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25(日教販ビル)  
TEL 03-5689-6601
- ウェブサイト  
<http://www.inx.co.jp/>



この報告書は、FSC®認証紙/木材を使用し、インキ中のVOC(揮発性有機化合物)成分を取り除き、植物油成分に置き換えて開発した当社製のDiatoneエコピュアSOY CL-100Xにて印刷しております。